

## 第1回教育研究審議会

### 議事概要

開催日：平成23年4月13日（水）

場 所：本部棟3階大会議室

出席者：加藤祐三学長、高田理孝副学長、福田誠治副学長、椎廣行事務局長、田中一利理事  
大平栄子学長補佐、清水雅彦学長補佐、阿毛久芳研究科委員長、鶴田清司初等教育学科長  
牛山恵国文学科長代理、儀部直樹英文学科長、進藤兵社会学科長、大辻千恵子比較文化学科長  
杉本光司地域交流研究センター長、稲垣孝博外国語教育センター長、重原達也学生課長、相川泰総務課長

#### ■挨拶

加藤学長よりあいさつ

### 議 事

#### 1. 平成23年度授業開講科目の追加について

○担当より説明、審議の結果、提案どおり承認。

#### 2. 大学院3ポリシーについて

○担当より説明、継続審議とし意見や修正がある場合は教育研究審議会の場で審議していく。

#### 3. 平成23年度計画（案）について

○担当より説明、各自資料を確認し、次回の教育研究審議会にて審議。

- ・各自20日までに資料を確認意見等は経営企画室へメールで提出。27日に教育研究審議会の意見として年度計画の決定をしたい。

#### 4. 学長選考会議委員の選出について

○担当より説明、審議の結果、次回の教育研究審議会において選挙にて委員を決定。

#### 5. 平成24年度教員配置について

○担当より説明、今後の予定としては、各学科の要望に対する個別ヒアリングを実施し、理事会としての第一次案を次回の教育研究審議会に示し、その中で議論の上最終決定し公募の手続きをしていきたい。

#### 6. プロジェクト構想（案）について

○担当より説明。

- ・プロジェクトAに関しては、現在3つある入試管理、入試制度、入試選考委員長が入るようにして欲

しい。

- ・プロジェクトCに関しては、今までは教授会の下にカリキュラム改定委員会があり、そこからボトムアップで改定案が作成され、教授会が最後に決定していた。基本的にはそれに準じた構成委員にして欲しい。
- ・プロジェクトDに関しては、地域交流研究センターでSATの取り組みを行っているが、今後教育実践演習でSATが入ってくると地域交流研究センターでは対応しきれない。教職について全体的に考える組織を改組だけでなく、新設もふまえて検討して欲しい（教職センターなど）。
- ・教職関係のセンター化については、初等教育学科では消極的である。初等教育学科は、学科全体として教員養成をしようという考え方がある。教職センターのメリット、デメリットを考え即設置でなくよく検討していただきたい。

#### 7. 過去1年間の教育研究審議会検討事項と今後の展望について

○担当より説明、随時問題点については解決をしていく。